

中学校の「学校部活動」が 今、変わろうとしています。

～休日の部活動を段階的に改革します～



広報たかやま令和3年11月号では、中学校部活動改革についての現状を紹介しました。
令和4年度が始まり、中学校も新入生を迎えての新しい生活が始まりました。
そこで、令和3年12月と1月に実施したアンケート調査結果も踏まえ、中学校部活動の今後の方向性について、**第2報**をお伝えします。

小・中学生や保護者の声

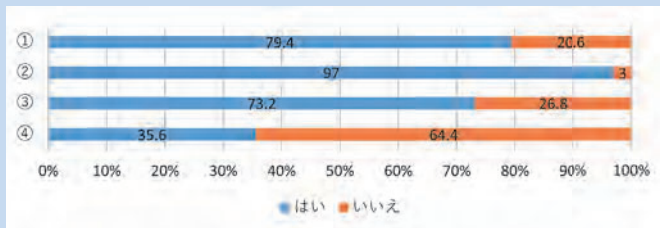
第1報をお知らせした後、小学6年生と令和4年度の中学生の保護者にアンケート調査を実施しました。アンケート結果(下図)から分かったことは次のとおりです。

▼小学6年生の入部希望は約80%
(①)で、20%は部活動の加入を希望していない。また、保護者の約80%が学校に部活動は必要と考

令和3年度の小学6年生(現中学1年生)の声

令和3年12月実施 763人(98%)が回答

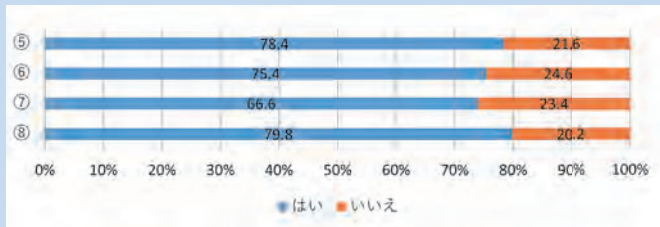
- ①入学したら部活動への加入を希望しますか
- ②部活動は任意参加でよいと思いますか
- ③入学する学校にもっと多くの選択肢があるとよいと感じますか
- ④他校に希望する部があれば、その部で活動したいと思いますか



令和3年度の小学6年生、中学1・2年生(現中学生)の保護者の声

令和4年1月実施 1930人(81.4%)が回答

- ⑤学校に部活動は必要だと思いますか
- ⑥部活動は任意参加でよいと思いますか
- ⑦他校に希望する部があれば、その部に入部できたらよいと思いますか
- ⑧他校と合同で活動することで部活動は充実すると思いますか



【参考】令和3年度の中学生の現状と声

令和3年9月実施 2200人(92%)が回答

- 加入生徒は89.5%、未加入生徒は10.5%
- 未加入生徒のうち62.4%は「学校外の活動を優先したい」
- 約80%の生徒が「部活動は任意参加でよい」と考えている。
- 他校と合同で活動することを有意義と考える生徒は約70%

えている(⑤)。
*未加入希望者のうち、半数以上が学校外の活動を優先したいと考えている。
▼「部活動は任意参加でよい」と考えている割合は、小学6年生ではほぼ全員(②)、保護者約75%(⑥)、中学生は約80%
▼「入学する学校にもっと多くの選択肢があるとよい」と感じている小学6年生は約70%(③)
*小規模校では、その割合がさらに高い傾向(約90%)にある。
▼「他校に希望する部があればそこで活動したい」と考える小学6年生

は約35%。そうした環境を希望する保護者は60%以上(⑦)
今後の方向性
市独自の改革を検討中です
現在、各種競技団体と意見交換をしながら、次のような方針で部活動を改革を進めています。
①学校の枠に捉われず、複数校が合同で部活動する仕組みづくり
*柔道部は、昨年度より合同部活動を開始しました。
*陸上や剣道など、他の競技においても、休日に複数校が合同で活動する仕組みを検討しています。

た休日の部活動の仕組みづくり
*市ハンドボール協会では、ハンドボールを希望する中学生が活動できるクラブチームを発足させ、活動を始めました。
部活動改革は、一律の対応ではなく、種目や地域の特性に応じた柔軟な対応を考えています。
既存の部活動は今年度も継続しつつ、まずは休日の部活動についての改革を、全国中学校体育連盟の動きも注視しながら段階的に進めていきます。
問合せ 学校教育課 ☎35-3154

